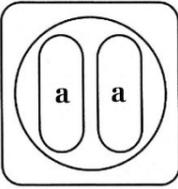
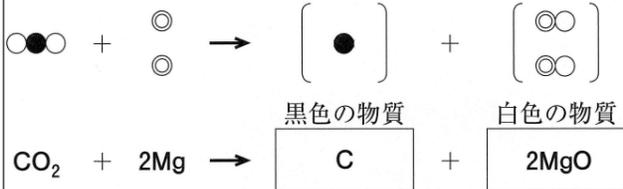
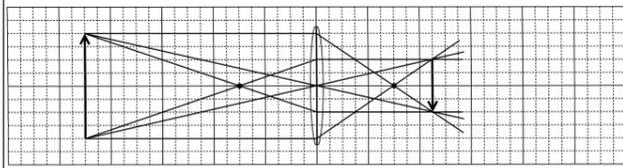


追検査

令和3年度採点の手引 (理科)

問題	正 答	配 点	採 点 上 の 注 意	
1	問1	ア	2 4	
	問2	ウ		
	問3	エ		
	問4	エ		
	問5	6 時 3 5 分 1 3 秒		
	問6	アミラーゼ		
	問7	蒸留		
	問8	1. 4 A		
2	問1	エ	1 9	
	問2	かぎ層		
	問3	I 等粒状		3
		II 斑状 (はん状)		
	問4	ア		
	問5	侵食		
問6	(例) 斑晶はマグマがゆっくり冷えてでき、石基はマグマが急に冷えてできたと考えられる。	4	内容に応じて部分点を認める。	
3	問1	分離の法則	1 9	
	問2			4
	問3	ア		4
	問4	イ		4
	問5	(例) 無性生殖によってできる個体は体細胞分裂をすることでつくられるのに対し、自家受粉によってできる個体は減数分裂を経てつくられるから。		4

問題	正 答	配 点	採 点 上 の 注 意		
4	問1	(例) 石灰水が試験管 A に逆流する現象が起こることを防ぐため。	3	1 9	
	問2	質量 0. 3 g	5		
		計算の過程や考え方 (例) 酸化銅と銅の質量比は 5 : 4 なので、4.0 g の酸化銅がすべて還元されると、銅は 3.2 g 得られる。よって、反応せずに残った炭素の質量は加熱後の混合物 3.5 g から得られた銅 3.2 g をひいて、0.3 g となる。			
	問3	燃焼	3		
	問4		4		酸化マグネシウムのモデルについては、◎と○の組み合わせが二組かかれていればよい。
問5	ウ	4			
5	問1	全反射	3	1 9	
	問2	イ	3		
	問3	2 0 cm	3		
	問4	(1)			3
		(2) 記号 ウ 理由(例) スクリーンに届く光の量が少なくなるから。			
問5	イ	3	内容に応じて部分点を認める。		
配 点 合 計		1 0 0			